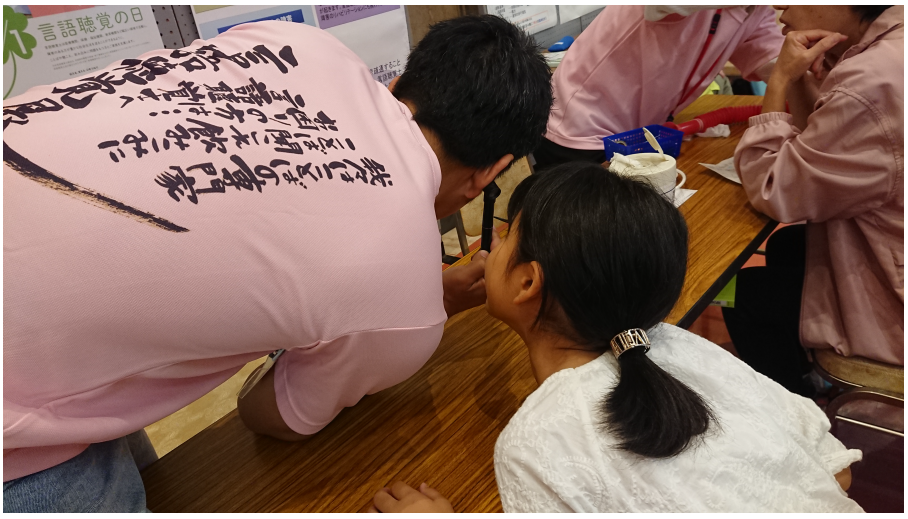
令和元年度
「言語聴覚の日」イベント報告

福井県

今年度は、「さばえ 食と健康･福祉フェア」「福井市健康フェア2019」に出展しました。鯖江市の健康フェアではフレイルをテーマに難聴とめまいに焦点を当て、「耳の中を見てみよう」「補聴器をつけてみよう」「難聴とめまいの予防法を知ろう」の3つの企画を通して、フレイル予防を啓発しました。
来場者は高齢の方が多い印象で、聴力の衰えや耳鳴りの訴えが多く聴かれました。TVのボリュームを家族に指摘されることで難聴を自覚する人が多いようですが、補聴器に関しては嫌悪感を持つ人もあり、難聴を自覚していても、対策をしている人は少ないことが分かりました。
福井市健康フェアでは「言葉の発達を促す遊び」をテーマに出展しました。子供達は、見慣れない大人と遊ぶことに抵抗があるのか、課題的に遊ぶことが難しく、用意した企画通りに遊べることは少なかったです。
子供達は、こちらの用意したルールを越え、次々と独創的な遊びを展開していました。
そんな子供達についていくのに必死で、目的意識を失うことも多かったです。
相談コーナーで受け付けた相談は5件、内容は、言葉の遅れや発音、聞こえなど多岐にわたりました。
今年度は初めて福井市の健康フェアに出展しました。初めての小児領域のテーマ戸惑いましたが、小児領域の先生に協力いただき、安心して企画運営することができました。例年以上に幅広い層にPRできた言語聴覚展となりました。

福井県言語聴覚士会　ST展実行委員　河野友彦